

## 第五次地域農業振興計画 営農ビジョン

管内で農業に従事する組合員の今後3年間における耕作意思は、現状維持が最も多く、次いで経営規模の縮小や中止となっており、生産意欲の低下が懸念されています。

また、昨今の農業を取り巻く環境は、組合員の高齢化や農業者の減少により、生産現場の労働力が不足しているほか、農業資材の高騰等で再生産が儘ならない状況となっています。

先般実施した意向調査では、JA購買品の値下げや農産物の販売価格安定向上、機械設備への補助など多数の意見を頂戴し、地域に根ざすJAとしてこれからの地域農業を維持していくため、「農業所得の向上」「次世代担い手の育成・確保」「労働力対策」を中心に取り組み、

### 地域農業の担い手とともに 活気・魅力あふれる農業の実践

**JAは、けっばる組合員を応援します！**

を掲げ、未来を見据えた農業・地域振興へ努めて参ります。



弘前大学との第1回「未来創造研究所」会議

# 地域農業振興計画 基本方針

## 営農ビジョンの実現に向けた3つの柱 (方針)



再生産可能な農業所得の確保



担い手の育成と経営基盤の強化



産地の維持と拡大を目指す事業展開

### 1. 再生産可能な農業所得の確保

#### (1) 農産物の販売価格安定向上

- ・各品目における販売力の強化と有利販売の取り組み
- ・安全安心な農畜産物の生産推進

#### (2) 反収安定に向けた対策

- ・近年問題となる異常気象の対応
- ・栽培マニュアルの作成や改良

#### (3) 生産コストの削減

- ・低コストや省力化の組み合わせによるトータル生産コストの削減
- ・にしきた型水稻育苗パイプハウスの推進

## 2. 担い手の育成と経営基盤の強化

### (1) 次世代担い手の確保

- ・地域の担い手の掘り起こしと就農支援
- ・栽培や経営の安定に向けた活動

### (2) 営農指導員の提案力向上と出向く意識付け

- ・各地区へ指導員を配置し、担い手の良き相談者として活動
- ・育成プログラムや各品目チームによる活動を通じ、指導員を育成
- ・地域の農業者や関係機関へ若手指導員を派遣し、実地研修

### (3) 生産組織活動の活性化

- ・わけもの会などによる活動で、垣根を超えた仲間づくり
- ・生産組織部会の再編や新設及び活動支援

### (4) 法人化支援

- ・法人化を推進し、強固な経営体を育成
- ・JAの強みである総合力を発揮し、継続的な支援



農家手取り最大化検討会



常勤役員りんご園地巡回

### 3. 産地の維持と拡大を目指す事業展開

#### (1) 生産現場の労働力不足対策

- ・ 無料職業紹介、援農ボランティアやデイワークなど労働力支援の実施
- ・ 品目ごとの労働力不足対策の実施

#### (2) 産地ブランド力の向上

- ・ 振興作物における付加価値の検討
- ・ 高品質な農産物の企画販売や実需者との契約販売

#### (3) 作付拡大や維持のための支援

- ・ 振興作物に対する J A 独自の各種助成支援
- ・ 受託作業組織の設立、連携による作業支援

#### (4) 持続可能な農業の推進

- ・ 堆肥、緑肥の施用による土づくりの推進
- ・ 環境調和型農業の実現に向けた全農グリーンメニューの検証

## 振 興 作 物

- |             |   |
|-------------|---|
| 1. 米穀・畜産部門  | 水稲、大豆、小麦、畜産   |
| 2. やさい・花き部門 | にんにく、ブロッコリー、ねぎ、アスパラガス<br>トマト、ながいも、ごぼう、とうもろこし<br>きゅうり、花き 計 10 品目 |
| 3. りんご部門    | りんご   |
| 4. 果実部門     | すいか、メロン、ぶどう (シャインマスカット)   |

**にんにく、ブロッコリー、ねぎ、アスパラガス、シャインマスカットの5品目は、複合経営を推進するための重点推進作物**とします。

# 組合員所得向上に向けたJA支援体制(フロー図)

